

|        |  |                |    |
|--------|--|----------------|----|
| EUREKA | 多波長観測で探る合体銀河中の銀河-ブラックホール共進化機構  | 山田智史           | 5  |
| 天球儀    | <2021年度日本天文学会天体発見賞><br>自作の自動掃天システムによる超新星 2021afsj の発見                  | 徳岡修二           | 15 |
|        | 企画展「新潟の赤いオーロラ」を開催して  | 中沢陽            | 21 |
| 追悼     | 松本敏雄先生<br>松本さんの思い出：赤外線天文を始めた頃  | 奥田治之           | 28 |
|        | RUSH-RUSH MAN 松本さん   | 村上浩            | 30 |
|        | 松本さんが生涯をかけて取組んだ近赤外背景放射の研究  | 松浦周二           | 31 |
|        | 松本先生と追究した近赤外線背景放射  | James J. Bock  | 35 |
|        | 松本先生の思い出   | Hyung Mok Lee  | 37 |
|        | 私の知っている松本さん  | Shiang-Yu Wang | 39 |
| 雑報     | 日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書<br>AASTCS 9: Exoplanets IV                        | 佐藤佑樹           | 41 |
|        | 日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書<br>COSMOS team meeting 2022                       | 伊藤慧            | 43 |
|        | 日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書<br>SPIE Astronomical Telescopes + Instrumentation | 中野覚矢           | 44 |
| 月報だより  |  |                | 47 |

**【表紙画像説明】**

多くの理論研究から、合体末期の銀河では大質量ブラックホールへの高い質量降着率を持つ活動銀河核が生じ、その中心領域はガスやダストに深く埋もれることが予想されているが、その真の構造は謎に包まれていた。本研究では、近傍合体銀河の包括的な多波長観測研究を行うことで、埋もれた活動銀河核の構造を調査した。その結果、銀河からブラックホールへの激しい質量降着流を持つと共に、ブラックホール近傍から銀河にまで拡がる莫大なエネルギー放出を伴った構造であることが分かった。図は合体末期の埋もれた活動銀河核の多スケール構造を示す。

**【表紙デザインコンセプト】**

2023年の卯年にちなみ、遠い星に住む「うさぎ」に似た生命体が主人公です。太陽系を発見し、探索する様子を12ヶ月の表紙で描きます。不思議な天文台の物語をお楽しみいただけましたら幸いです。

**【今月の表紙デザイン】**

「太陽」

光り輝く未知の星を発見した。膨大なエネルギーが渦巻く姿は、凧の海に住む「うさぎ」たちの探究心をかきたてる。周囲を巡る天体と共に、今後も観測を続けていくようだ。